

放課後等デイサービス 事業所における自己評価表（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名：こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌北 24 条校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5			
	②	職員の配置数は適切であるか	5			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	1		段差はない。エレベーターの設置されている。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5			事前に業務スケジュールの作成をしている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			毎年行っている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3			HPに掲載している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			3	現在、実施していない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			WEB研修や事例検討会、新人研修など充実している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1		アセスメントのツールはあるが、うまく生かすことができていない。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4			SDQを使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			小集団の時は必要に応じて互いに情報交換している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5			要素が一緒でもいろいろ入れ替えながら行っている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	2		特に長期休みには、小集団の内容を考慮している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	1	1	月に1、小集団プログラムを導入している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			朝礼を行って打合せをしている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5			終礼を行い打合せをしている

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			仕事の中に記録作成をルーチン化し行っている。必要に応じて支援の振り返りを行っている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			モニタリングの予定計画と必要に応じて行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	1	2		今後、ガイドラインを閲覧していくよう促していく。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3		1	開催予定がある利用者さまに関しては、適合を考え参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4	1		必要なお子さんには親御さんに了承を得て行っている。日常生活で何かあった時は、親御さんから情報提供があり支援に活かせるようにしている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		1	1	該当者がいない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	1	1	今後適宜行っていく。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	2		今まで該当者がいないが、該当するお子さんがいる場合は、適宜、行う。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	1	1	今年は、地域コーディネーターの方と情報の交換を行えた。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1		2	ミニ児童館利用者が多い為、必要性を感じない。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	1		2	お誘いがあれば参加の移行。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			支援後、内容をお伝えしたり、学校の状況をお聞きしている。
保護者への説明責任等	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		1	2	スタッフの研修を踏まえて、可能であれば実施したい。
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			契約の機会に説明している。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			支援計画書の説明の時や必要に応じて対応している。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		1	2	今後検討し、茶話会の開催を検討したい。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			今年度は苦情受付はない。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			通信の発行や HP の更新をしている。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	5			鍵付きのロッカーを使用している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			視覚支援を取り入れている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		1	2	現在のところ行っていない。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5			通信に掲載したり、HP に掲載している。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			月 1 回行っている
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			外部の方をお招きし研修を行った。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4			他害や器物損傷を起こしそうな利用者様の保護者様に対しては、計画上に支援内容を組み込み、支援している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1		1	該当者がいない
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3		1	その都度ファイリングしている。

放課後等デイサービス 保護者等からの評価の集計結果（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名：こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌北24条校

保護者等数（児童数）：36名 回収数：14名

割合： 38.8%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	1	0	もう少し広いといいが場所の関係もあるのでしようがないと思う。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	14			
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	4		段差はない。ビルの管理会社との検討と経費が伴うので現状維持。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	14			
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	13	1		スタッフここで教材の検討を行っていく。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	8	5	必要に応じて行っていく。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14	0		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	14			
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14			
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	7	4	茶話会の実施を検討する。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	2		現在のところ苦情はない。そのようなあった時はスタッフ同士話しあり再発防止に努められるようにするとともに、保護者様への説明を行っていく。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14	1		連絡帳を使っていく。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	13	1		情報公開していることが分かるように検討する。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	14			

非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	14			
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	4		訓練が行われていることが分かるように掲示の仕方を考える。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	11	3		苦しい時間にならないようプログラムを考えていく。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	14			

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。